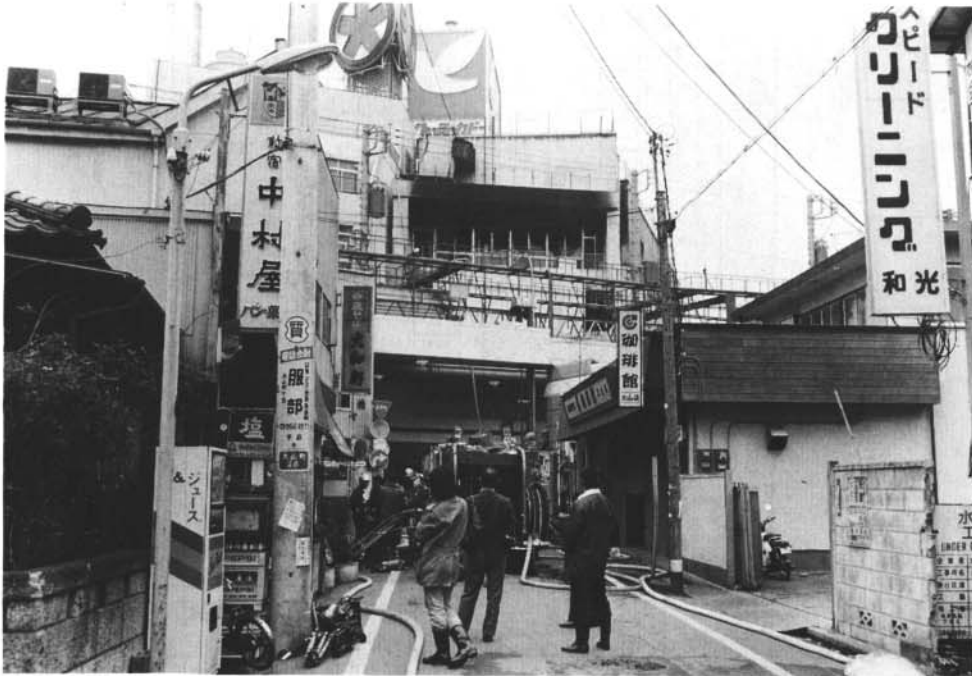


東京都板橋区 イトーヨーカ堂大山店



1. 火災の特色

この火災は、夜間に無人の物品販売店舗の1階から出火したものである。この店舗は、防災管理を警備会社に委託していたため、早い時期に火災は覚知をしたが、消防機関への通報が遅れ、さらに、建物外部に開口部の少ない建築物であったために、消防隊の建物内への進入が容易に出来ずに全焼したものである。

2. 出火日時等

(1) 出火日時

昭和54年11月9日（金）0時37分ごろ

(2) 覚知日時（覚知方法）

昭和54年11月9日（金）0時53分（119番通報）

(3) 鎮火日時

昭和54年11月9日（金）13時21分

3. 火元の概要

(1) 所在地

東京都板橋区大山町39番5号

(2) 火元建物等の名称

イトーヨーカ堂大山店

(3) 建物の構造、形態等

① 建築年月日

昭和39年新築

昭和41年11月 4階店舗へ用途変更

② 建物用途

物品販売店舗(4)項

③ 構造

耐火造 6階建

④ 面積 (建築面積、延べ面積)、各階の用途及び面積

ア 建築面積：679.63㎡

イ 延床面積：3,268.0㎡

階数	面積	用途
6階	108.0㎡	電気室
5階	586.0㎡	事務所、機械室、社員食堂
4階	633.0㎡	日用雑貨、インテリア
3階	647.0㎡	子供衣料、寝具
2階	647.0㎡	婦人衣料、ナイトウエアー
1階	647.0㎡	紳士衣料、肌着、化粧品
計	3,268.0㎡	

(4) 別表：消防用設備等の設置状況

設備 階数	消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	放 送 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯
1階	6	2	有	有		大型 3 中型 3
2階	4	2	有	有		大型 2 中型 3
3階	7	2	有	有	金属はしご 1	大型 2 中型 3
4階	5	2	有	有	垂直救助袋 1	大型 2 中型 3
5階	7	2	有	有	垂直救助袋 1	大型 2 中型 1
6階	2	/	有	有	/	/
合計	31	10			3	

(5) 防火管理の状況

- ① 防火管理者 選任届 昭和54年4月23日
- ② 消防計画 届出 昭和50年9月6日、その後変更届2回提出
- ③ 避難訓練 昭和54年4月22日、9月1日実施

4. 気象状況 (11月9日0時00分)

- (1) 天候
晴れ
- (2) 風位、風速
風位：北、風速：4.3m/s
- (3) 気温、湿度
気温：14.7℃
- (4) 警報・注意報
なし

5. 出火原因

- (1) 発火源
不明
- (2) 経過
不明
- (3) 着火物
紳士衣料、肌着等の可燃物に着火したと思われる。

6. 損害状況

- (1) 人的状況
 - ① 死者なし
 - ② 負傷者4人 (軽傷、消防職員)
- (2) 物的損害状況
 - ① 火元建物
 - ア 焼損程度 耐火造6階建 全焼
 - イ 焼損面積 1階から5階まで、計2,412㎡焼損
 - （ 地上1階 564㎡
 - ” 2階 509㎡
 - ” 3階 565㎡
 - ” 4階 548㎡
 - ” 5階 226㎡
）
 - ウ 損害額 356,954千円
- ② 類焼建物 なし

7. 火災の経過 (火災の様態)

- (1) 出火場所等の状況

出火場所は、1階正面入口に近いレジ付近であり、出火当時は終業後の夜間であり、無人であった。

(2) 出火に至るまでの経過

不明

(3) 火災発見の経緯

① 発見

イトーヨーカ堂の南側約50mの店舗の店主が0時45分ごろ、シャッター下部の隙間から内部の火炎を発見した。

このときシャッターからの輻射熱をかなり熱く感じている。しかし、消防機関への通報はおこなっていない。

② 警備会社の火災覚知と通報状況

0時45分頃、警備保障会社の管理センターに火災信号が入り、これとほとんど同時に警備会社のテレホンタイプに送信されたが、この時点でも119番通報はされていない。

(4) 消防機関への通報状況

イトーヨーカ堂の南側約20mの店舗の女性が、0時50分ごろ、自宅の窓から火災を発見して、自宅の電話で119番へ通報した。

(5) 初期消火の状況

到着した警備員が初期消火を試みたが、可燃物量が多く、発生した煙で中へ入ることが出来ないため、有効な初期消火は行われていない。

(6) 火災拡大の状況

火点から上階への延焼経路は、エスカレーター、屋内階段、ダクトスペースの縦穴を介して拡がった。また、天井、吊り木、野縁が木製であり、多量の商品があったので、延焼拡大した。

8. 消防機関の活動状況

(1) 出動隊等

① 出動車両

ポンプ車	24台
はしご車	3台
特別救助車	2台
救急車	2台
指揮車	11台
給食車	1台
広報車	2台
排煙車	1台
空気補給車	4台
燃料補給車	2台
その他	2台

計	54台
② 出動人員	
消防職員	321名
消防団員	45名
計	366名

(2) 消防機関の消火・救助活動の状況

消火活動等

消防隊到着時、全館に火煙がまわっており、加えて建物が外壁の開口部が少なかったため進入が困難であった。

9. 問題点・教訓

- (1) 無人建物であったために、初期消火がなされなかった。
- (2) 防火区画が不完全であり、さらに、衣類等の多量の可燃物があったため、多量の火煙が発生し消火が困難であった。
- (3) 建物は窓が少なかったため、排煙が有効に行われず、消防隊の進入も困難であった。

10. 資料

図-1 : 1階平面図

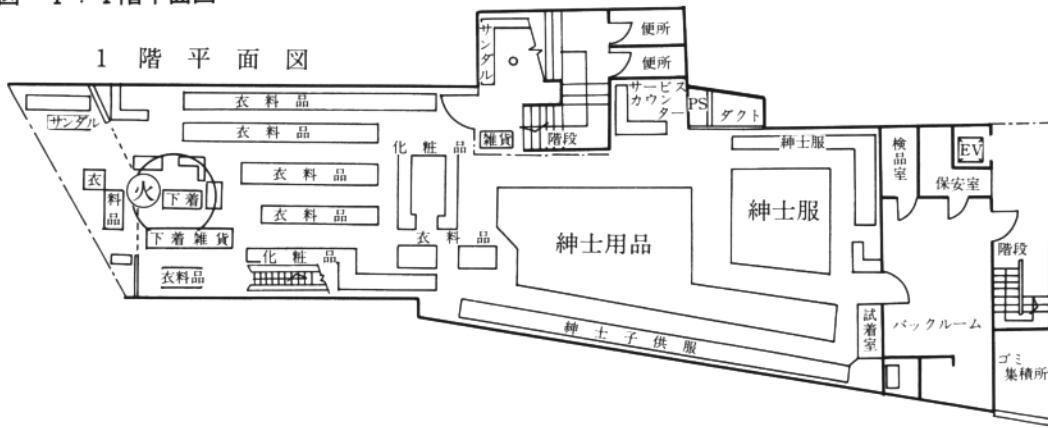


図-2 : 2階平面図

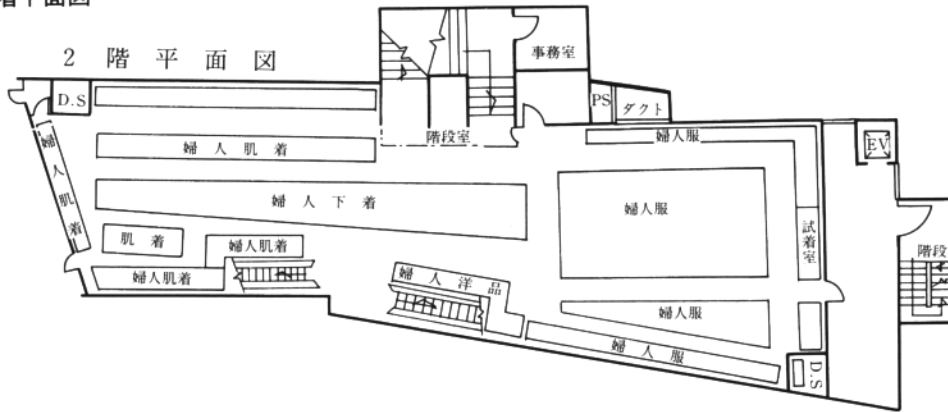


図-3 : 3階平面図

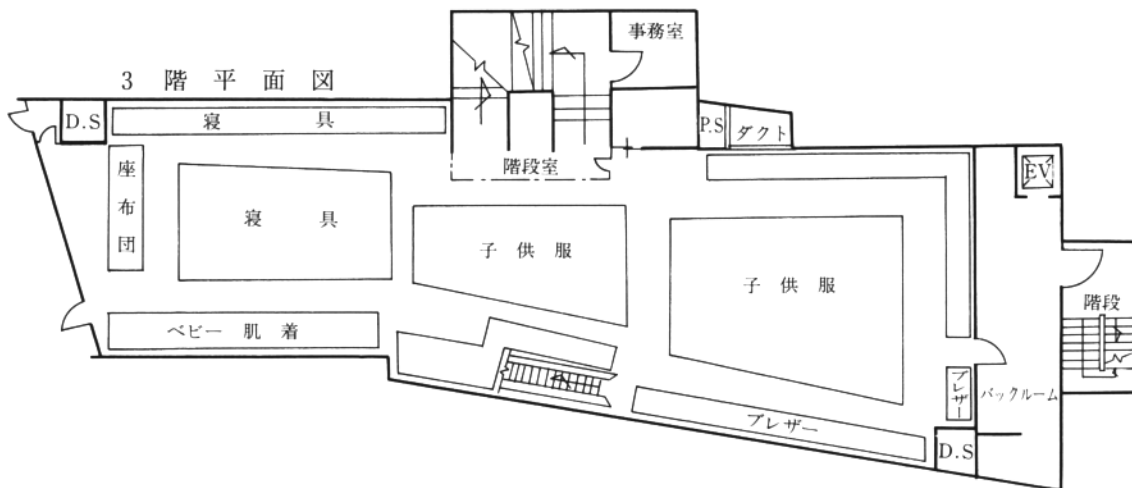


図-4：4階平面図

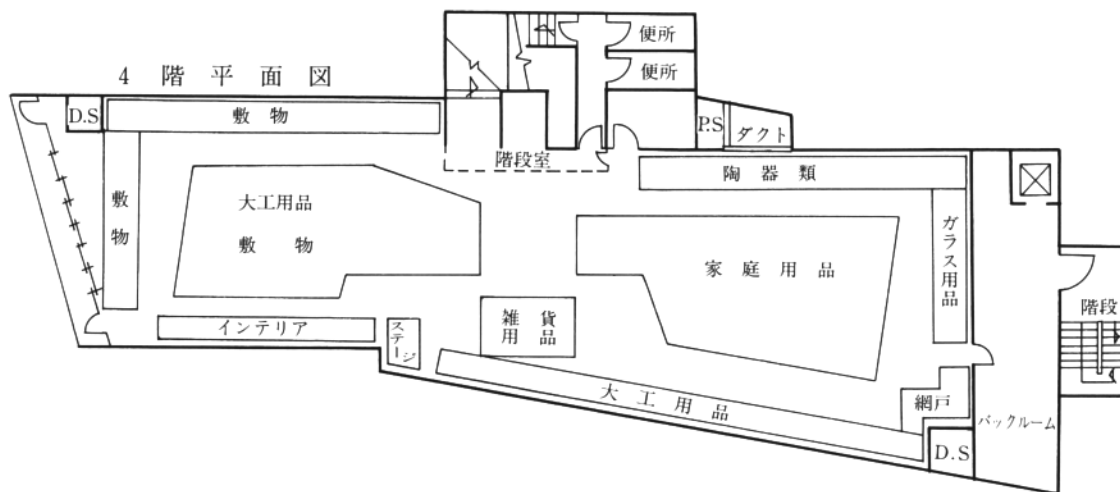


図-5：5階平面図

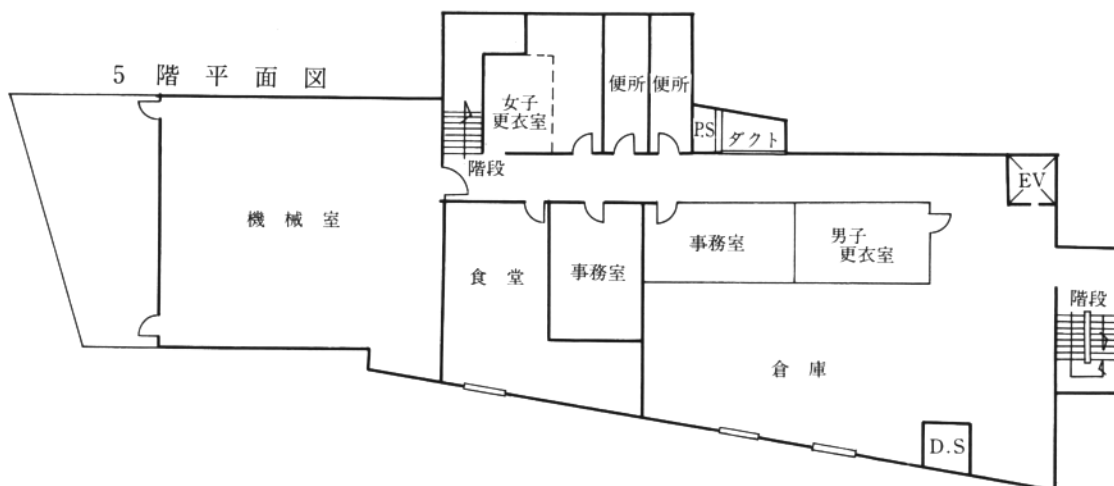


図-6：延焼経路図（東側）

